

貯留ヤード画像解析システム搭載
自動クレーン
ADLER
AUTOMATIC CRANE
省人化、無人化を実現

自動クレーン「ADLER」は、ヤード内に貯留されている対象物の積載状態を、建屋上部に設置された画像センサーで確認し、排出に最適な部位を瞬時に解析します。その情報は制御システムの指令により天井クレーンが最適な動作で掴み、対象物を指定された位置に自動で供給します。

UENOTEX
Powered by Rima Technology

ウエテックス株式会社
TEL 025-536-2266 (代) / 025-536-2266 (技) FAX 025-536-9836
東京営業所 TEL 03-6632-7966 [大阪営業所] TEL 06-4805-8750
URL <https://www.uenotex.co.jp> E-mail daihyo1@uenotex.co.jp

後付け設置が可能です
— どんな場所にも、いつでも —
象印 軽レールクレーン
ELEPHANT/ABUS HBシステム
☆安全で快適な職場をローコストで実現

「HB110S」「HB150S」「HB190S」「HB250」軽レールクレーンシステム

- 軽レールの「なめらか」感覚
- 「フリーなハンドリング」の威力
- 「手押し自在クレーン」の真髄

テクニカル相談室 ☎ [技術のご質問] 0120-911-232 [営業のご質問] 0120-984-204 (平日9-12時 13-16時45分) FAX ☎ 0120-911-832 電子メールでのお問い合わせ e-call@elephant.co.jp

象印チシボック株式会社
ホームページ <http://www.elephant.co.jp>

クレーン安全大会 11月7日-8日/東京・ティアラこうとう

11月7日から8日の2日間、東京都江東区のティアラこうとうで第43回全国クレーン安全大会が開かれる。主催は日本クレーン協会。

●11月7日=優良従事者表彰など
7日は優良なクレーン関係業務従事者を表彰するほか、厚生労働省労働基準局安全衛生部の安全課長による「安全行政の課題と今後の展開」をテーマにした講演、名古屋大学宇宙地球環境研究所の坪木和久教授による「台風がもたらす激甚気象の現状と地球温暖化に伴う将来変化」と題した特別講演が開かれる。

●11月8日=研究発表
8日は建機メーカーなどによる研究発表が行われる。10時からは緑マークの浜口真佐樹プロジェクト・マネジャーが「100年塗料を目指して=塗料革命」をテーマに登壇する。同社と産業技術総合研究所が共同開発した、100年の耐用年数を持つ塗料を紹介する。

10時35分から清水建設エンジニアリング事業本部SEP運営部の坂本憲哉部長が「自航式SEP船『BLUE WIND』について」をテーマに解説する。同社が建造した洋上風力向けSEP船「BLUE WIND」の能力、運用状況、課題などについて、メインクレーンに焦点を当てて発表する。

11時20分から住友重機械建機クレーンCS企画部担当職の宮原一臣氏が「移動式クローラークレーンのドローン点検C-SAIについて」と題した講演を行う。同社が開発したクレーン起立外観検査サービスの機能と実施例を紹介する。同サービスでは、ドローンを使って作業姿勢のクローラークレーンを近接撮影し、画像から点検診断を行う。

11時55分からはコベルコ建機新事業推進部の岡田哲グループ・マネージャーが「クレーン施工計画策定支援ソフト『K-D 2 PLANNER』機能紹介」をテーマに登壇する。建築用3次元コンピューター利用設計(CAD)のクレーン施工計画策定支援アドインソフトの機能と顧客事例を紹介する。

両日とも参加費は無料。参加希望の場合は最寄りのクレーン協会各支部へ。申し込み期限は10月20日。

優良クレーン関係業務従事者表彰などが行われる (前回開催時=日本クレーン協会提供)

安全・技術向上へ実技講習
クレーンの日

受講で運転資格
クレーン協会東京支部、毎月実施

日本クレーン協会東京支部では、免許試験、技能講習、特別教育などの講習を毎月行っている。

9月15日はクレーン運転特別教育の実技が行われた。受講すると吊り上げ能力5t未満の設置クレーンを運転する資格が与えられる。実技では、17人の受講生が天井クレーンの巻き上げ・走行・横行の操作を学んだ。

東支支部の地場孝一事務局長によると、「クレーン操作時は吊り荷のバランスを調整し、揺れを抑えつつ、加減して揺れを抑えつつ、慣性力が働く場合にはホイストを走行方向または反対方向に動かす必要がある」と話す。スピードを落とすことで、揺れを少なくすることがポイント。現場事務局長と話す。スピードを落とすことで、揺れを少なくすることがポイント。現場事務局長と話す。

方向に動かすことで吊り荷の揺れを抑える。クレーンで吊り荷を持ち上げる前に、フックと吊り荷が鉛直線上にあることを確認することも重要だ。必ず横と正面の2方向から鉛直を確認した後、荷を持ち上げる。講習では実演も交えて鉛直線上にない場合の危険性も訴えた。鉛直でない状態では吊り荷が揺れると、人に当たったりモーターを壊したりする危険性があると受講生に伝えた。

岩淵氏はクレーンを安全に操作するための心構えとして「クレーン操作は危険な仕事であることに常に意識してほしい。軽く見ると危ない。コントローラーを使いこなして揺れを制御できるようにならないといけない」と強調する。

吊り荷、バランス重要

安全と努力で造る総合力でお客様に奉仕する。

日本のものづくりを支える
ものづくりの会社

クレーンのことなら菱井工業
(軌条形天井クレーン、橋形クレーン、片脚橋形クレーン、その他)

作業の効率化・低コスト化を推進

高品質な製品とスピーディーな即応力が私たちのプロフィール。

ユーザー各社様の厚い信頼に支えられながら、先端技術の発展と共に着実に成長、きめ細やかなサービスと卓越した開発力で、クレーン製造技術の未知なる可能性を追求しています。

クレーン設計施工
労働局クレーン製造許可工場
大労安許第191号

ISO 9001 & JIS Q 9001
EQA ANAB

業界トップクラスの生産台数をはじめ、設計、製造、据付、試運転、さらには官庁検査から御使用後のメンテナンスに至るまで、トータルな技術力を有しています。

クレーン製造技術をはじめ、物流搬送システムの幅広い分野でトータルに活躍。

菱井工業株式会社
本社 〒578-0967 大阪府東大阪市新鴻池町2番2号
TEL 072-961-1565 (代) FAX 072-963-6159
TEL 072-0138 千葉県市川市南行徳2丁目9番34号
TEL 047-397-6873 (代) FAX 047-398-3563
URL <http://www.hishikougyou.co.jp> E-mail: crane@hishikougyou.co.jp

性能検査 型式検定 技能講習等

クレーン・移動式クレーン・デリック・エレベーター・ゴンドラ
クレーン・移動式クレーンの過負荷防止装置
クレーン・移動式クレーン・玉掛け等の技能講習、実技教育及び安全教育

厚生労働大臣 登録検査・検定機関 都道府県労働局長 登録教育機関
一般社団法人 日本クレーン協会
〒136-0082 東京都江東区新木場1-11-7 TEL 03(5569)1911 FAX 03(5569)1916
<https://cranenet.or.jp>

各種クレーン設計、製造、据付、改造、保守点検、メンテナンス、ウェイトレンタルまでトータルでサポート

各種天井、橋形、特殊クレーンメーカーとして50年の実績と信頼

株式会社ナニワ製作所
ヨイナ ナニワ
0120-417-728

本社・本社工場 大阪市大正区三軒家東 3-8-34
TEL 06-6552-3656 FAX 06-6552-3658
第一工場 大阪市大正区三軒家東 6-8-8
第二工場 大阪市大正区三軒家東 6-19-1
ナニワクレーン 検索 クリック

水平親網用クランプ SBMR型

「横網」

締付状態確認機構
赤い確認ラインで、
ねじの締め付け状態が一目瞭然！
※同時に無負荷時の脱落を抑制しています。
※必ず規定締付トルク以上で締め付けて下さい。

イーグルクランプ独自の安全性

- 最大装備重量：100kg 仕様
- 有効板厚：6~25、25~45mm
- 製品質量：1.3、1.4kg

NETIS

—国土交通省 新技術情報提供システム—
登録番号 KK-220010-A

世界の吊具
イーグルクランプ株式会社

クレーン・メンテナンス

月例、年次点検、性能検査、無線、自動、性能アップ改修

ソフトタッチの オーエスインバータクレーン

《即応体制》

《営業品目》
天井・橋形クレーン・特殊自動クレーン・コンベヤ仕分装置
電子機器製造設備機械、部品製作、舞台装置、AGV、台車

オーエス産業株式会社
工場営業所 〒670-0804 姫路市保城津倉188
TEL(079)281-1530(代) FAX(079)288-0928
URL <http://www.ossangyo.co.jp>

高度な技術と品質で信頼にお応えします

ISO 9001 認証取得

株式会社 産機

本社 〒690-0021 鳥取県松江市矢田町250-33 TEL 0852-21-3047 FAX 0852-31-5133
南工場 〒690-0021 鳥取県松江市矢田町250-55 TEL 0852-20-6212 FAX 0852-22-9901
<http://crane-sanki.jp> 広島営業所・東京営業所・ジャカルタ

有力企業の製品・技術

順不同

タダノ

タダノはオールテレリフトクレーン「AC6130001」を発売した。最大吊り上げ能力は300t。

世界で最も厳しい排出ガス規制の一つとされる欧州の「ユーロステージV」に対応するエンジンを、クレーン部とキャリア部の双方に搭載する。クレーン・キャリア共通のシングルエンジン方式を採用し、定期メンテナンスの負担を軽減する。

200t〜400t吊りクラスでは最長の80tロングアームを採用し、ジブなしでも高揚程作業ができる。一方で多様なジブ仕様をそろえる。スタンダード仕様の油圧リフト式ジブに加え、フルスペック仕様では、種類のジブ仕様を設定する。

ナニワ製作所

ナニワ製作所は創業以来「頑丈で耐久性の高い天井クレーン」にこだわり、顧客から「定格荷重を吊っても安定走行で安心して使え、耐久性が高く壊れない」と評価が高い。クレーンの製造、据え付けだけでなく、電気工事、レール施工、改造、修理・補修・各点検のメンテナンスを請け負い、他社製のクレーンも使い手がよくなる改造提案も行う。大阪・難波から車で約15分の利便性のよい場所に、三つの工場を保有する。顧客はクレーン導入計画段階で実際の製造現場を見学できる。同社は顧客ニーズを把握した取引に力を注ぐ。また従業員全員が顧客の立場で考え、顧客との良好な関係の構築に努めている。

産機

1962年に創業し、2022年11月に60周年を迎えた産機は、クレーンを主力とする自動搬送設備のメーカー。天井・橋形・ジブクレーン、製鉄向け特殊クレーンなど定格荷重200tまでの中型クレーンが得意で全国に納入実績を持つ。

「品質、安全、信頼」を第一に考え、設計から開発、製造、施工、メンテナンス、アフターサービスまで一貫して行う。一物物なども得意で、クランプローラー（巻き上げ機）、サドル（走行装置）、吊り具装置など、付属する装置品を設計・製作。納入から数十年経過したクレーン部品の改造工事、レトロフィットの再設計・加工も行う。IoT化、自動化にも積極的に取り組んでいる。

キト

キトは1932年の創業以来、国内初となるチェーンブロックの量産化（39年）、チェーンブロック用チェーンの独自開発と自社生産、クレーン用サドルの標準化などに取り組み、あらゆる産業の安全性と生産性の向上に貢献してきた。

昨年、移動式ライトクレーンシステム「モバイルライトクレーン」をリリースした。天井クレーンの設置されていない作業現場でも、アンカー固定なしで3次元の荷役搬送を実現する。架台や天井補強が不要なため、設置工数やコストを削減できる。今年にはさらに広い範囲（走行レール5m幅、横行レール5〜6m）で使用できるビッグサイズシリーズも品ぞろえに追加した。

菱井工業

菱井工業は1961年の創業以来、技術の進歩向上に努めながらユーザーに役立つクレーンの設計・施工をトータルに手がける。現在、西日本地区では有数のクレーン専門メーカーとして30%以上のシェアを誇る。ホイスト式クレーンを中心に、荷重1tから最大100tのものまで製作。月産平均30〜35機、最大で月産60機を達成した実績もある。

人材の獲得・育成に力を入れると同時に、品質・納期でも競争力を磨き信頼を得ている。クレーン製造ではスピードを追求し差別化。溶接機メーカーと共同開発した従来比2倍超の速さで自動走行する溶接機を駆使した量産体制を築いている。

富士ホイスト工業

富士ホイスト工業は1954年の創業以来、全国で2000件以上の大型「ごみクレーン」を納入してきた。国内トップクラスの実績を誇り、耐久性、品質の高さはもちろん、トラブル発生時は早急に対応する体制を整えている。

84年には24時間無人稼働の全自動ごみクレーンを納入。97年には国内最大級の全自動ごみクレーンも納入した。地球環境の保全活動を最重要課題とし、環境装置向け各種クレーンを取り扱う。大型ごみクレーンへの知識や経験、技術の改良を続け、安全で高い信頼性を持ったごみクレーンの製造に注力している。また、保守点検や更新改造にも柔軟に対応し、老朽化対策にも豊富な実績を持つ。

イーグルクランプ

イーグルクランプは1962年創業の吊り具専門メーカー。「作業者の安全を守り、生産の向上に貢献する」を方針に、各種吊り具の研究開発や製造販売、アフターサービスを営む。

同社ヒット商品の全方向吊り上げ可能なねじ式「SBMR型」は、安全性向上と締め付け状態が確認できる機能を豊富に装備しており、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている。このほか、多種多様な製品をラインアップする。

また対象のセットチェーンリングの購入者に向けて、下取り値引きを行う「アンコールセル2023」を10月31日まで実施する。キャンペーン詳細は同社営業所へ。

象印チェーンブロック

1997年、品質管理・保証の国際規格「ISO9001」をチェーンブロック、ホイスト車業で初めて認証取得した象印チェーンブロックは、クレーンやチェーンブロック、レバーホイスト・荷締め機、玉掛け用具、吊り具の総合メーカー。

既成部品を組み立て式クレーンシステム「象印軽レールクレーン」は、どんな場所にもいつでも設置（後付け）可能で、安全で快適な職場を低コストで実現する。軽レールの「なめらか」感覚、「フリーハンドリング」の威力、「手押し自在クレーン」の神髄を併せ持つ。

同社はテクニカル相談室を設け、ユーザーの相談にも柔軟に対応している。

ウエノテックス

ウエノテックスはオーダーメイドの工場自動化（FA）システムを開発・設計・製造する。産業用クレーンでは天井クレーン、ホイスト・クランプローラークレーン、自動倉庫クレーンなどの設計から施工までトータルに対応し、顧客のあらゆるニーズに応えている。クレーンの性能が各メーカーで平均化している中、新たにセンサーやIoTを搭載した自動搬送クレーンを開発し、廃棄物などを自動で所定の位置へ搬送できる。

さらに、同社の主力製品の破砕機と運動させることで、単純作業となる投入作業をクレードに置き換えることが可能。作業効率が格段に向上し、顧客の省人化、生産性の向上に貢献する。

小川製作所

小川製作所は1960年に建設用タワークレーンの国産第一号を開発したタワークレーンメーカー。2023年8月には創業75周年を迎えた。

設計図面の作成から製造・販売までを一貫して手がける専門メーカーとして、常にユーザーのニーズに寄り添い、顧客満足度の高い製品作りを実現してきた。新機種開発にも積極的に取り組む。顧客の声を着実に反映することで、その期待に応えている。

今後も国産タワークレーンのパイオニアとして、「歴史に学ぶ」「経験に学ぶ」という姿勢を守り、次の新たな節目を見据え、確かな技術成長のもと、社会に貢献できる企業を目指していく。

スーパーツール

スーパーツールは1918年の創業以来、「開発こそが社会に奉仕し、メーカーの生き残る道」を理念とし、歴史と伝統に培われた技術と独創性で新たな製品開発に取り組む開発型企業。

今年9月、顧客企業に好評のポータブル型クレーン（伸縮型）「PMC490BNS / 1000BNS」に、さらに顧客ニーズに応えて「ヒムスパン」を調整可能にした「PMC490BNSタイプ」を発売した。

従来の高さ調整はもちろん、パレットや吊り荷の配置に合わせて、1800mm〜2800mmの範囲内で100mmピッチごとに調整できる。現場の作業効率向上に貢献する。

愛和産業

愛和産業は1967年の創業以来、天井クレーンや多様なタイプの搬送機器の製造、メンテナンスを手がける。

製造だけでなく、設計からメンテナンスまで一貫したサービスの提供を強みとし、「迅速・丁寧な対応」をモットーに顧客の要望に応える。あらゆるニーズに対応する搬送機器を提供している。数十年にわたって培ってきた技術でさまざまなメーカーの機器に対する知識も豊富。また、国家資格を持つ専門スタッフでメンテナンスをサポートしている。

天井クレーン・搬送機器の製造、装置の改造は全国に対応する。メンテナンスは東海から関東まで対応可能。幅広い対応力で顧客からの信頼も厚い。

オーエス産業

オーエス産業は1930年創業の老舗クレーンメーカー。1500tの重量物を搬送できる天井クレーンや、トンネル工事で活躍するシールドマシン用特殊クレーンなど「大型」や「特殊」なクレーンの製造を得意とする。

クレーンの開発から機械加工、電気工事、据え付け、メンテナンスまで社内一貫対応できるのが同社の強みで、天井クレーン（ホイスト式クレーン・クランプ式クレーン）、橋形クレーン、特殊クレーンなどの納入台数は、関西圏を中心に全国で約1000台に及ぶ。今後は高所吊り作業などメンテナンス事業を強化する。他社製のクレーンを設置する企業にも積極的にサービス提案し、売り上げ拡大を図る。

9月30日

クレーンの日

スパン調整 100ピッチ
1800~2800mmの範囲内で、100mmピッチごとの調整が可能です。

PMCA90BNS / 1000BNS
詳しくはコチラから

新製品
ポータブル型クレーン（伸縮型）スパン調整タイプ
PMCA90BNS / 1000BNS

伝統で培った安全・安心・革新を、この先の未来へ繋いでいく。

株式会社 **スーパーツール**

本社・工場 大阪府堺市中区見野山158番地 TEL.072-236-5521(代) FAX.072-236-5785
大阪支店 東京支店 名古屋支店 札幌 仙台 新潟 北関東 広島 福岡

<https://www.supertool.co.jp/>

HUMAN ENGINEERING

技術第一主義

高度な技術集団が省力化・無人化システムを提案。

各種走行クレーン及び自動搬送・省力化システムの

- 設計・製作・据付業務
- 既設機械の改造改善業務
- 月例点検年次点検整備保全業務

信頼のメンテナンス

豊富な技術と人材で完璧なメンテナンスを実施。突発故障も電話一本で即時対応。

AIWA

株式会社 **愛和産業**

本社 愛知県稲沢市下西部町1丁目59
TEL(0587)32-6255(代) 492-8185
大阪工場 愛知県大府市橋本町1丁目1-605
TEL(0562)47-7300(代) 474-0011
神奈川工場 神奈川県横浜市西区高島2丁目7-60
TEL(0463)54-0234(代) 254-0014

URL <http://www.aiw.co.jp>
E-mail aiwa@aiw.co.jp